

2020年4月17日

父母・保証人の皆さまへ

学長代行 半谷俊彦

新型コロナウイルス感染拡大に伴い授業方法を変更するにあたって

和光大学では、新型コロナウイルスの感染問題が明らかになって以降、何とか通常に近い形で授業を実施できないか検討し、二度にわたって授業の開始を延期しました。しかし、感染拡大は4月になってからその勢いを増しています。4月7日に日本政府が発出した緊急事態宣言は5月6日までを期間としています。その間に感染拡大が収まるとは考えられません。その後もしばらくは、2メートル以上の距離を保たなければならない状況が続くと思われま。そうしたことから、和光大学では、授業開始を5月14日に延期した上で、前期授業をオンラインで実施することに決定いたしました。

・オンライン授業について

オンライン授業は、インターネットを通じて、「配信された資料を読む」、「配信された動画を視聴する」、「同時双方向型授業（WEB会議システムを使った授業）を受ける」の何れかを行った後に、同じくインターネットを通じて質問をし、それに対する回答を得た上で、課題を提出するという形で進めます。今までの授業とは大きく異なるので戸惑うことも多いかと思いますが、一刻も早く慣れてもらえるよう、全教職員が一丸となってサポートに努めます。また、オンライン授業は通常の授業に比べ、学生の自主性がより必要とされますが、いつも以上に学生の興味を引き出せるよう、教員は様々な工夫を考えています。

・授業期間の短縮について

授業開始が延期されたことで、前期の授業期間が15週から12週に短縮されましたが、3週分については自宅課題学習で補います。指定された学術論文や専門書を読んだり、特定のテーマについて調査したり、決められた練習をこなしたりといった課題が提示されます。自宅課題学習には、自分のペースで取り組むことができるという利点があります。通常の授業におけるよりも深い学びを得られるよう、選りすぐった課題を用意します。

・休講となる科目について

実技や実習を中心とした科目の一部は休講にせざるを得ません。3年次生以下の皆さんには、そうした科目は来年度以降に履修してもらうこととなります。4年次生の皆さんには、誠に申し訳ないことですが、他の科目を選んでもらうこととなります。和光大学は、多彩な学問領域の科目を幅広く開講していることが自慢のひとつです。他の授業を履修することになって、学生の皆さんには必ずや満足のいく学習成果を得てもらえるものと考えています。

・インターネット環境について

オンライン授業を受けるにあたっては、インターネットを使える環境が必要となります。具体的には、パソコンの所有とプロバイダーとのインターネット回線契約です。スマートフォンだけで受けられる授業もありますが、決して快適な状況とはいえません。諸事情があるかとは存じますが、ご家庭におきまして是非ともそうした環境を整えて下さいますようお願い申し上げます。

和光大学は、「教員と学生の距離が近い」ことで知られています。学生が教員の研究室を訪ねやすい雰囲気がある、少人数の授業が多い、4年間を通じて担当教員がいる、教員が公式・非公式に学生とともに様々な活動を行っている、などがその理由です。そうした和光大学にあって、学生の皆さんと顔を合わせて授業を行えないのは、大変遺憾なことです。しかし、授業がオンラインとなっても、教員が学生のことを親身になって考えていることには変わりはありません。メールや電子掲示板でのやり取りなどを通じて、じっくり交流を深めたいと考えています。

以上、ご説明しました通り、前期につきましては、授業期間が短縮され、授業がオンラインとなり、一部の科目は休講となりますが、予定した通りの教育内容、教育水準は保証いたします。むしろ、オンライン化によって教室という空間的制約や時間割という時間的制約が外れたことをうまく活かして、これまで以上に高い水準で教育をしていきたいと考えています。父母・保証人の皆様におかれましても、事情をご理解いただき、お力添え下さいますよう、お願い申し上げます。

以上